

■ぬまづ近代史点描80

一九六四東京オリンピック 沼津市の聖火リレー

■29年度新収資料の紹介

■29年度当館収蔵資料の使用

二〇一八年四月

通巻
133号

沼津市
史料館
明治
通信



沼津商業高校（丸子町）前での聖火リレー

昭和39年（1964）10月6日

松本 仁 氏寄贈

下田町の高野敏明（青年団）から大島正義（沼津市役所）に聖火を受け渡しているところ。正面を向いているのが大島。塩谷六太郎市長も見える。

二〇二〇東京オリンピックの開催が二年後に迫ってきた。聖火リレーについても、種火を東日本大震災の被災三県（岩手・宮城・福島）に運んでイベントを行った後、沖縄県からリレーをスタートする方針が決まり、また都道府県別の日数が確定し、静岡県には三日間が配分されたなどの報道が出ている。さて、最近、昭和三九年東京オリンピックの開会式の時の静岡県内の聖火リレーに関する

資料が見つかったので、この資料から五四年前の聖火リレーについて紹介したい。

昭和三九年（一九六四）八月二日、聖火はアテネを出発し、途中イスタンプール、ベイルート、ダマスカス、テヘラン、ラホール、ニューデリー、カルカッタ、ラングーン、バンコク、クアラルンプール、マニラ、ホンコン、タイペイの十三都市を経て、それぞれ一泊しながら全日空のチャーター



図1・国内聖火リレーコース

『オリンピック東京大会静岡県聖火リレー』より
 原本所蔵 井上泰秀氏

機で空輸され、九月六日、那覇（沖縄）に到着した。当時の沖縄はアメリカの占領統治下で、本土復帰運動が盛んだった。沖縄に到着した聖火は島内をリレーした後、九日早朝に沖縄を発ち、鹿児島・宮崎・札幌に到着・点火した。南からは鹿児島を出発して九州の西側から本州の日本海側を通る1コースと宮崎を出発して九州東側から四国、本州の太平洋側を通る2コース、北からは札幌から青森で分かれ日本海側を通る3コース、太平洋側を通る4コースという4つのコースで（図1参照）、各コースとも一日に出発した。静岡県は2コースに含まれていた。ちなみにリレー参加者は計一〇万七百十三人であったという。

静岡県のリレーコースは概ね当時の国道1号線を通るルートで、一八五・一km・百十四区間となっていた。コースが通過している二十五市町村は原則二区間、人口一〇万人以上の都市は一区間増、通過市町村以外は単独もしくは二町村以上で一隊を編成したほか、学校関係で特殊学校、通信教育、高等学校関係で隊を編成し、前年度、前々年度に団体、インターハイで活躍した学校を選出、団体でスポーツ少年団、青年学級、勤労青少年団体とした。種目別競技団体が東・中・西で三隊が編成された。リレー隊は、正走者一人、副走者二人、随走者二〇人以上、一六〇才の日本人（随走者は中学生可）で編成され、服装やアマチュアであること、毎時一二kmを標準として走ることなどが定められていた。

静岡県に聖火がリレーされたのは、一〇月三日の一五時五〇分、愛知・静岡県境でのことである。



部分拡大

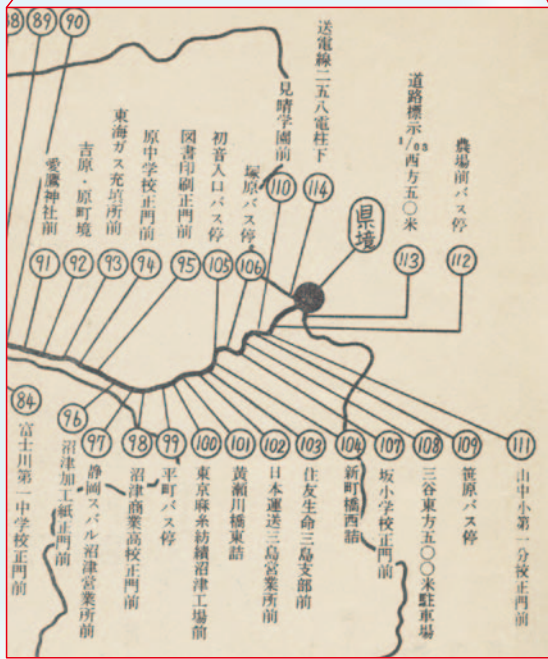


図2・静岡県内聖火リレーコース(部分)
『オリンピック東京大会静岡県聖火リレー』より
原本所蔵 井上泰秀氏

ここを一番目として92番目の中継地点「吉原・原町境」で、一〇月六日二時三十分、現在の沼津市域に聖火がリレーされた。92から93「東海ガス充填所前」までの区間一・八kmは土肥町・戸田村で編成された隊が走り、正・副走者、随走者とも二三名全員が松崎高校土肥分校の男子生徒で、第93中継所までを走った。

93から95までの二区間は原町で編成した隊であった。93から94「原中学校正門前」まで一・五kmの区間は旧浮島村で編成されたようで、正走者は山田政和(沼津商高)、副走者は堀内美秋(沼津商高)、殿岡豪(日大三島高)、随走者は浮島中学校の生徒二〇名であった。94から95「図書印刷正門

前」までの一・八kmは、正走者杉山学(沼津商高)、副走者赤池実雄(日大三島高)、深沢正和(日大三島高)、随走者は原中学校の生徒二十名であった。

95から96「沼津加工紙正門前」まで一・八kmの区間は、東伊豆町・河津町の隊が、96から97「静岡スバル沼津営業所前」までの区間一・三kmは、松崎町・賀茂村・西伊豆町の隊が、97から98「沼津商業高校正門前」まで一・三kmの区間は南伊豆町・下田町の隊がリレーした。

98から101「黄瀬川橋東詰」までの三区間三・九kmが沼津市の隊の担当であった。

98から99「平町バス停」まで一・六kmの区間は、正走者は大島正義(沼津市役所)、副走者は堀江進

(自営)・鈴木雅樹(不二石油)、随走者は中島忠男(土佐谷鉄工)ら社会人八人、沼津商業高校の男女生徒八人、一中、二中の生徒四人であった。

99から100「東京麻糸紡績沼津工場前」の一・一kmの区間は、正走者は井上泰秀(県土木事務所)、副走者は早川昭男(国産電機)・加藤晴祥(神田製作所)、随走者は東芝沼津の社会人二人のほか中学校・高校の生徒一八人(沼津西高三人、沼津女商高五人、沼津市高二人、五中四人、金岡中四人)で、男女比が半々の隊であった。

100から101「黄瀬川橋東詰」まで一・二kmの区間は、正走者折戸慶四郎(あみや酒店)、副走者茂呂嘉幸(加藤車体)、初又信好(漁業)、随走者は海福潔(日産自動車)ら社会人五人、高校生一五人(沼津東高一、沼津市高六人、沼工一人、沼津工業高専五人、沼津北部高二)であった。「黄瀬川橋東詰」で聖火は清水町の隊にリレーされ、その後15中継所「静岡・神奈川県境」までリレーされた。ちなみに、静岡県内の最終正走者は、後にハンマー投げでオリンピックに三度出場した室伏重信(日大三島高)であった。

一〇月九日、日本列島を四つのコースでリレーされてきた聖火は当時有楽町にあった東京都庁前に集まった。翌日の十月一〇日、一九歳の坂井義則(早稲田大学)が最終ランナーを務め、国立競技場の聖火台に聖火が灯されたのであった。

(本文中敬称略。所属・町村名・場所等は当時)

*沼津市明治史料館では二〇二〇年にオリンピックを主題とした企画展を構想しています。関係する資料、情報などがあればお知らせ頂ければ幸いです。よろしくお願ひします。



平成29年度新収資料の紹介 昨年度、明治史料館に仲間入りした資料です。

| | | | | |
|----|--|---|----|---|
| 寄贈 | 岩崎 功 様 小野 正明 様 石川はる江 様 則竹 政司 様 石橋 明久 様 | 安政東海地震の記録木板 伝徳川慶喜書「寿山」・杉浦重剛書軸 支那事変従軍記事など 宮山千之助関係資料 石橋好一関係文書（寄託から切替） | 購入 | 旧沼津藩関係 三浦徹『鼓手の臨終』 その他沼津の歴史関係 「大平年代記」(明治期の写)・「伊豆国久利村地券取調書上帳」・和田伝太郎(初代沼津市長)『虫聲如雨』・『加奈陀の魔窟』・山田梅軒『句集・みの虫』・「沼津日日新聞」第2号(大正15年)・第208号(昭和元年)・「沼津毎日新聞」第396号～第473号(昭和2年)7点・「有限責任駿豆籾糸販売購買利用組合定款」・「駿河三十三番駱豆(横道) 観音礼所御詠歌並巡路」・「駿河郷友会雑誌」第五号・小池礼三ほか著『競泳指導の仕方』・沼津労音機関紙「ながれ」・沼津労音例会誌、『仏心』100号・『沼津商工人名録』昭和14年・「静浦御案内」 |
| | 寄託 | 上松 徹 様 | | 水野忠友書状 |
| 購入 | 沼津兵学校関係 沼津兵学校旧蔵書『穆天子伝』、『漢武内伝・飛燕外伝』・松井甲太郎書(兵学校書記方)『新撰小学修身誦読書』・西周(頭取)書幅・「日本海員掖済会要覧」(会長赤松則良・理事松山温徳)・『大日本名匠一覽』(杉田玄端、三浦煥、森岡元硯)・林洞海自筆写本類一括・『現代名士の演説振』(江原素六、島田三郎)・原田信民(兵学校資養生)発行『新撰帝国大日本全図』・西尾政典(兵学校資養生)編『新撰満漢全図』・堀江敬慎(兵学校資養生)序文揮毫『シェーフェル氏独逸文法独学』・大平俊章(兵学校資養生)出版『増補上野国地誌概略』・佐竹石三(秋雨)(兵学校資養生)著『陸海軍人生活』・瀬名義利(兵学校資養生)「遊就館長陸軍少将瀬名義利他書簡」・大森俊次(兵学校生徒)著『英和新辞彙』・櫻井光華(兵学校生徒)編『各州万国暗射分図指南譜』・村垣素行(兵学校生徒)著『小学算算例題』・平井参(附属小生徒)『廻瀾集』第七編・「新撰中学漢文」巻五・「長谷部守本翁碑拓本」・佐久間信泰(附属小生徒)『中等英和新辞典』 | | 購入 | 地図 「最新沼津詳細図」昭和3年・「改正沼津市全図」昭和3年・「最新詳解沼津市全図」戦前・「沼津市全図」昭和29年・「沼津復興都市計画図」昭和32年・「沼津都市計画街路・公園・地域・風致地区図」昭和32年・「沼津市地図」・「住所索引」(附静岡県沼津市三嶋町御殿場町) |
| | 静岡移住旧幕臣関係 望月万一郎(静岡学問所教授)「白鹿洞書院揭示」・柏原学而(静岡病院医師)訳『小学万国地理書』・宮崎駿児(静岡学問所生徒)訳『百科全書 南亞米利加地誌』・島田豊、島田弟丸(静岡学問所生徒)著『実用英和作文』・太田資行・島田主膳(静岡学問所生徒)「静岡新誌」第2号・第4号・第5号・『同方会誌』第58号 | | | 絵葉書 給葉書「沼津千本浜エハガキ」(沼津名所千本浜ヨリ富士ヲ望ム・千本浜照憲皇太后御在所・沼津名所千本浜公園戦利砲台池・沼津名所千本浜公園ノ一部・沼津千本浜海岸ヨリ大瀬岬ヲ望ム・沼津名所千本浜公園ノ一部・沼津名所千本浜公園ノ一部、沼津名所千本浜公園ノ一部) 「観光の沼津」(三津発端よりの桜花と霊峰富士・沼津アーケード街・若山牧水先生の歌碑・海水浴場の千本浜海岸・大瀬岬と駿河湾の富士眺望・沼津牛臥山より眺めたる沼津市街の大観)・「沼津海水浴場」・「香貫山鳥瞰沼津市全景」・【ステレオ写真】沼津驛ヨリ富士山ヲ望ム |

平成29年度当館収蔵資料の使用 明治史料館の資料がいろいろところで活躍しました。

☆展示使用

| | |
|--------|--|
| 6月 | 昭和館 証言映像「平成29年度昭和館オーラルヒストリー 東京編1 川村秀様」写真「B29による爆撃あと」[空襲を受けた市街地] |
| 7～11月 | 東京都江戸東京博物館・静岡県立美術館・彦根城博物館「二〇一七年NHK大河ドラマ「おんな城主 直虎」特別展 戦国!井伊直虎から直政へ」百足旗指物(山本家資料(当館保管)) |
| 10～11月 | 沼津市歴史民俗資料館 松籟の宴2017白隠禅画展「お婆ひき歌」 |
| 12～2月 | 安中市学習の森ふるさと学習館「山本菅助一真下家所蔵文書の発見」山本家資料(当館保管)31件 |
| 3月 | NHK新静岡放送会館1階ハートプラザ「静岡ふるさとアーカイブス」[狩野川の渡船など(昭和16年頃)] |

☆刊行物掲載

| | |
|-----|---|
| 4月 | 沼津史談会『沼津史談』第68号 写真「幕府オランダ留学生」・「沼津城絵図」など6点 |
| 5月 | 沼津市役所「広報めまづ」5月1日号 写真「さようなら沼津港線」 沼津市役所「沼津港振興会総会議案集」沼津港関連写真3点 |
| 9月 | (公財)日本武道館『月刊武道』10月号、11月号 丸屋武士「文弱への警告一麻布中学校長・江原素六の奮闘」写真「江原素六肖像」[沼津高等小学校]など4点 |
| 11月 | 山川出版社『レンズが撮らえた幕末維新の日本』写真「幕府フランス伝習生」 |
| 12月 | 都市出版『東京人』2月号 写真「幕府オランダ留学生」など4点 現代書館 樋口雄彦『幕末の農兵』『歩兵心得』など7点 |
| 2月 | 教育出版 文部科学省検定教科書『小学校社会科4年』2020年発行予定 「小林村変地之図」(「地震之記」) |
| 3月 | 沼津史談会 沼津まちなか歴史MAP「沼津城主住居間取図」・写真「石橋純彦」 千葉県立関宿城博物館『研究報告』第22号 中村正巳「戊辰後経歴(二)」[「戊辰後経歴」(山田大夢関係資料)] |

☆テレビ等映像・その他

| | |
|----|--|
| 4月 | NHK-BSプレミアム「釣りびと万歳」絵はがき「江浦地区の生簀」 |
| 5月 | 南駿農業協同組合 沼津茶「素六」商品プロモーション映像 絵はがき「茶の静岡県」より8点 |
| 6月 | 静岡放送「イブアイエンタ」内「3丁目の昭和」沼津・狩野川西岸編 写真「狩野川右岸の河岸(明治期)」など6点 静岡朝日テレビ「サタハビしずおか」写真「三津の山より牛臥・富士山方面を望む」(広報課移管) |
| 8月 | 静岡第一テレビ「everyしずおか」[松根油緊急増産二関スル件](中沢田区有文書) BS-TBS「英傑の末裔2」写真「乙骨太郎乙」・「杉田玄端銅版画」(『日本大家論集』より) |

人事異動

3月31日付で館長伊澤康行が退職。
4月1日付で館長井原正利が着任しました。
今後ともよろしく願っています。

沼津市明治史料館通信

第133号

平成30年4月25日

編集・発行 沼津市明治史料館

〒410-0051 沼津市西熊堂372-1

TEL055-923-3335

FAX055-925-3018

印刷 みどり美術印刷株式会社



富士・沼津・三島3市博物館連絡協議会からのお知らせ



富士・沼津・三島3市博物館連絡協議会では、明治150年を記念し「幕末・明治の富士・沼津・三島」を共通テーマに、昨年度は歴史講演会を開催しました。本年度は各館で企画展を開催します。3館をめぐるスタンプラリーに参加すると、オリジナルマッチ箱形ふせんをゲットできます。ぜひご覧ください。

三島市郷土史料館 〒411-0036 三島市一番町19-3 楽寿園内 TEL055-971-8228
近代三島をつくった人々 前期:政治・教育編 6月23日(土)～9月24日(祝)
後期:経済・文化編 10月13日(土)～1月3日(木)

沼津市明治史料館 〒410-0051 沼津市西熊堂372-1 TEL055-923-3335
御一新!?～庶民が体験した沼津の幕末維新～ 7月1日(日)～9月30日(日)

富士山かぐや姫ミュージアム 〒417-0061 富士市伝法66-2 広見公園内 0545-21-3380
産業のまち 富士の幕開け 7月28日(土)～10月21日(日)